

学 科 紹 介



学科長

笹井 宏 益

玉川大学学術研究所
高等教育開発センター 教授

人生科学部

子育てささえあい学科

1年次

● 目的・概要

子どもの成長にとって親・保護者の役割が重要であることはいうまでもありませんが、子どもを取り巻く環境が大きく変化した現在、地域という場で、多くの人たちが、子どもをめぐる関わり合い、支え合い、助け合うようになることが大切です。

この学科では、乳幼児から中学生くらいまでの子どもたちを念頭におき、子育ての意義や課題等について理解を深めるとともに、子どもの豊かな成長と信頼にあふれた地域づくりを目指して、子育てを応援する意義や方法等について幅広く学びます。現在子育て中の方も、子育てを終わられた方も、地域や学校で子どもたちと関わりたいと考えている方も、そして子どもたちとともに豊かな地域を創りたいと思っている方も、ぜひ一緒に学びましょう。

● 講 師 友野清文

(昭和女子大学総合研究センター 教授)

西村吉弘

(国立教育政策研究所 研究員) ほか

● 曜日・時間 木曜日 10時～12時

● 1年次の授業計画

※内容や実施日等は一部変更になる場合もあります。

カリキュラムの概要(順不同、全30コマ)

① 子どもの育ちを理解する:8コマ

乳幼児から中学生くらいまでの子どもを念頭におき、乳幼児期、幼稚園から小学校低中学年期、小学校高学年から中学校期といった発達段階を踏まえ、「自立」や「友人関係」、また「遊び」「食」など、子どもの成長と密接な関係があることがらの意義や役割に着目しつつ、子どもの育ち全般について事例を交えながら学びます。

② 子育てをめぐる社会的課題の解決について考察する:6コマ

今と昔の子育てを比べると、医療や栄養面が改善されたり、就学前の子どもたちの学びの場が広がったりするなど良い面もたくさんありますが、スマホの普及や貧困・格差の拡大など子どもの成長発達に悪影響を及ぼしかねない事象も生じてきています。こうした環境の変化を踏まえ、現代における子育ての特徴を把握し、子育てをめぐる社会的課題の改善について学びます。

③ 子どもをめぐる諸課題を把握しその背景等を理解する:6コマ

「いじめ」や「ひきこもり」「孤立」など現代の子どもは様々な課題を抱えています。その一方で、虐待やネグレクトに象徴されるように、問題のある親子関係も少なからず見受けられます。ここでは、現代の子どもや親子関係が抱えている様々な課題について、それらが生じた社会的背景等を理解し、その解決の方向について考察します。

④ 子育てを応援している活動を理解する:5コマ

「子育てひろば」や「すくすくスクール」など福祉や教育にかかる行政機関では、様々な形で子育てへの応援が行われています。また、NPOや地域のグループ・サークルの中にも、子育てを応援する取り組みを進めているところがあります。官民を問わずこうした子育てを応援している活動に着目し、それらの現状と課題等について学びます。

⑤ 子育てを応援するための実践的能力を培う:5コマ

フィールドワークや大学祭に向けて、皆で相談してイベントや展示等の内容を企画し、その実施に向けて協力し合って準備をします。また当日には、イベントや展示等をおして、子どもたちや親・保護者と交流活動や共同作業を行います。これらの実践プロセスをつうじて、現代の親子を理解し、子育てを応援するための実践的能力を培います。

⑥ 大学祭にむけて(単位外)

学びの成果を発表する大学祭への取り組みについて話し合います。(学生のみ)

● 2年次の目的・概要

2年次は、卒業後の活動の展開に結びつく学びを進めます。特に、実践的な「関わり力」を身に付けるため、仲間づくりの方法やイベントの企画・運営等についても学びます。併せて、2年間の学びをふり返って経験したことをまとめ、情報発信する力も身に付けます。